

背景・要因等

か
か
わ
り
た
い

- ・2人とかかわりたい気持ちがある？
- ・1年生を邪魔にしている？
- ・本当は仲良くなりたいが、どのようにかかわっていいのかわからない。(コミュニケーションの取り方)
- ・仲良く接したいが方法がわからない。
- ・関係をつくりたい気持ちはあるが、仲良くする方法がわからない。

自
分
を
見
て
ほ
し
い

- ・自分に自信がもてない。
- ・被害者意識が強い。
- ・自分と周りを比べてしまう。
- ・「僕だけ」を見てほしい。
- ・負けたくない気持ちがある。
- ・自分の気持ちをうまく言語化して伝えることが苦手。

どう行動してよいかかわからない

- ・正しい行動がわからない。
- その時、先生と話をしてもすぐに忘れてしまう。

体と心の成長のアンバランス

- ・思春期に入り、モヤモヤとした気持ちがある。
- ・「大人は、どうせ、話を聞いてくれない」と決めつけている。

苦しさをわかってほしい

- ・担任の先生や支援員を独り占めにしたい。
- ・考えていることと反対の行動をしてしまう。

支援策

ケース会議の実施

(背景を探る・かかわりを振り返る→1人悩まずみんなで考える。)

- ・どうしてそのような行動が起きてしまうのか、背景を考える。
- ・いろいろな場面を想定し、どんな指導が有効であるか話し合う。
- ・どのような称賛方法だと受け入れられるか話し合う。

ソーシャルスキルトレーニング

- ・他の先生方や児童から称賛される場面を多く設定する。
(得意なこと：走る、委員会活動 等)
- ・叱るという観点ではなく、どんな行動だと相手が受け入れてくれるのかを考えさせ、実際にやってみる。
→活動後は、必ず称賛する。
- ・「かっこいい男の子は素敵な言葉を使おう」というような良い例えを示して指導する。
→活動後は、必ず称賛する。
- ・指導する際には、タイミングを大切に指導する。
- ・友達とのかかわり方を繰り返し学んでいけるようにする。

授業作り「良いところさがし」

- ・学級活動として、お互いの良いところをさがして、発表し合う。
→3人が認め合える活動を取り入れる。
- ・3人での活動時間を意図的に増やしていくようにする。もしかすると、活動当初は、トラブルも予想されるが、時間をかけて対応力を高めていくことも必要。
- ・「仲良くするための方法」を話し合わせてみてはどうか。教師からの一方的な提案ではなく、子供たち自身に考えさせてみる場面があってもよいと思う。
- ・3人それぞれの好きな活動を取り入れてみてはどうか。新たな学習活動が拡充されるのではないかな。

自
信
を
つ
け
る

- ・得意なパソコンを使った学習を通して、「できた」という自信をつける。
→指導例：下級生に教える場を設定する→称賛される→自己肯定感を高める。
- ・友達と仲良くするための約束は、目で見てわかる掲示方法を取り入れる。
→できた際には、称賛する。
- ・約束したことが継続して指導できる方法を取り入れる。
→「ほめほめカレンダー」「できたよポイントシート」「メダル」など。